



# 那須南病院 看護部

看護部紹介	部署紹介	教育について	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">看護部長あいさつ</a></li><li>・ <a href="#">看護部の体制</a></li><li>・ <a href="#">看護職員紹介</a></li><li>・ <a href="#">新人看護師</a>・<a href="#">中途採用看護師</a></li><li>・ <a href="#">育児休暇復帰看護師</a>・<a href="#">派遣看護師</a></li><li>・ <a href="#">時短看護師</a>・<a href="#">いきいき看護助手</a></li><li>・ <a href="#">特定行為看護師</a>・<a href="#">訪問看護師</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">2階病棟</a></li><li>・ <a href="#">3階病棟</a></li><li>・ <a href="#">4階病棟</a></li><li>・ <a href="#">手術室</a>・<a href="#">中央材料室</a></li><li>・ <a href="#">医療福祉相談</a>・<a href="#">医療連携室</a></li><li>・ <a href="#">外来</a></li><li>・ <a href="#">透析室</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">教育体制</a></li><li>・ <a href="#">看護助手研修</a></li><li>・ <a href="#">e-ラーニング研修活用</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">修学資金制度</a></li></ul>

## 地域の中で、患者さんに寄り添い笑顔の看護

「地域医療、多職種連携の中心的役割を果たし、

垣根を超えた、協力し合える病院を目指します」



### 看護部長あいさつ

南那須地区広域事務組合立那須南病院は、栃木県北東部の那須烏山市に位置し、近くを清流那珂川が流れる自然豊かな環境の中にあり、地域の中核医療機関としての役割を担っています。

看護部では、「私たちは、患者の皆様に寄り添い思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が安心して過ごせるようにサポートします。」と理念に掲げ、患者さんのことを自分の家族のように心に寄り添い、「思いやり」のある心をもってきめ細やかな支援ができるよう心掛けています。

地域の高齢者の割合は、全国平均を大きく上回っています。各機関と連携を取りながら、地域の皆様から「那須南病院があって良かった。」と言っていただけよう、地域に根付いた看護をスタッフ一同、力を合わせて取り組んでいます。

また、看護部では「お互い様」を合言葉に、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、働きやすい職場づくりを目指し、人材を貴重な財産として、スタッフがやりがいを感じながらいきいきと働けるように、職場環境の改善にも努めています。

看護部長：鈴木敦子





# 看護部の体制

---

## 看護部理念

---

私たちは、患者の皆様に寄り添い、思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が、安心して過ごせるようにサポートします。

## 看護部方針

---

1. 患者の皆様のご権利を尊重し、まごころと優しさのある看護をします。
2. 地域の皆様にご親しまれ、信頼される看護をします。
3. 良い看護を提供するために、自己研鑽に努め、責任と誇りを持って看護をします。

## 2021 年度看護部目標

---

1. 患者に寄り添い、信頼される看護を提供する。
2. 病院経営に貢献する。
3. 心身ともに健康で働ける職場環境作り
4. 得意分野を活かし看護の質を向上させる。

## 看護体制

---

1. 一般急性期病棟・・・10：1 100 床
2. 療養病棟・・・・・・・20：1 50 床

## 看護提供方式

---

固定チームナーシング方式＋受け持ち制

## 勤務形態

---

1. 病棟：変則 2 交代制勤務 全病棟 3 人夜勤（療養病棟看護職員 1 名看護助手 2 名）
2. 外来・手術室・透析室：日直・当直制

## 看護部委員会活動

---

1. 教育委員会 2. 基準委員会 3. 記録委員会 4. 業務委員会 5. 入退院支援委員会

## 看護部ワーキング

---

1. デイケアワーキング



## 看護職員紹介

---



### 新人看護師

---

#### 「信頼される看護師」

私が配属となった3階病棟は内科、眼科、小児科の混合病棟です。覚えることが多く今はまだ不安と緊張の毎日ですが、その分たくさんの学びがあり、やりがいを感じております。

また、1つ1つ学びが増えるにつれて看護の奥深さを実感できるとともに、患者さんの命を預かる者としての責任の重さも身に染みて感じております。患者さんご家族の思いに寄り添い、信頼される看護師を目指して日々成長していけるよう頑張ります。

#### 3階病棟：深澤麻奈美



### 中途採用看護師

---

#### 「その人らしさを尊重した看護」

私は整形外科、外科、内科の病棟で勤務しています。周術期の看護が中心ですが、様々な疾患の方が入院しており、急性期、慢性期、終末期の看護実践が求められます。認知症を有する方も多く、様々な場面で対応や判断に悩むこともありますが、先輩たちの関りから、患者さんが笑顔になる様子を見て、その人らしさを尊重して看護を実践することが大切だと感じました。今回の体験を看護に生かしていきたいと思っております。

#### 4階病棟：小林由貴



## 育児休暇復帰看護師

---

### 「笑顔を中心掛けて安心できる看護を」

2回の育児休暇を経て現在外来に所属しています。業務内容も長年携わっていた病棟と異なり、毎日新鮮な気持ちで勤務しています。育児部分休業を利用して子供達との時間を過ごせ、仕事と育児の両立ができています。コロナ禍にて様々な不安をお持ちの方も多いと思います。安心して病院に来ていただけるよう感染対策を行い、一人一人に笑顔で接していきたいと思っています。

### 外来：伊賀美穂



## 派遣看護師

---

### 「派遣看護師として学びたいこと」

令和3年4月より自治医科大学附属病院から派遣として来ました。大学病院では4年間勤務しましたが、その中で、治療を終えて地元に戻る患者様を多くみてきました。住み慣れた町で地域の皆様が実際にどのような医療を受けているのか、また、治療を終えた患者さんが退院後も継続し、安心して生活を送るための支援や地域連携について学びたいと思い、派遣を希望しました。この貴重な機会を活かし、さまざまな退院支援について学びを深めたいと考えています。

### 4階病棟：入江咲紀



## 時短看護師

---

### 「仕事と子育ての両立」

私は時短制度を利用しながら2人の子育て真最中です。思い通りには行かない子供たち相手に慌ただしい日々ですが、時短勤務のおかげで私自身も心身共に安定し、子供たちとの時間も大事にしながら今の生活を送ることができています。仕事復帰後も安心して働ける環境があることに、とても感謝しています。

### 透析室：伊東円華



## いきいき看護助手

---

### 「趣味を楽しみに元気に介護」

日常の気分転換として約5年間続けている写真の趣味があります。週末にありふれた日常の風景や自然の絶景などを撮影し一週間の活力にしています。

最近では、コロナ影響のため外出を自粛しており、撮影に出かけることは少なくなっています。そのため、遠出しなくても身近にある良い場所を再発見することができました。趣味を日々の活力にし、仕事を頑張っていきたいと思います。

### 2階病棟：渡邊大地





## 特定行為看護師

---

### 「医療と看護の質の向を目指して」

昨年度『精神及び神経症状に係る薬剤投与関連』と『栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連』の特定行為研修を修了しました。認知症看護認定看護師として活動していく中で、せん妄対応の相談が多く、私自身も悩んでしまうことがありました。特定行為研修で学んだフィジカルアセスメントや臨床推論は、現在患者さんに起きている現象を理解する上でとても役に立ち、タイムリーに対応することで患者さんの早期回復や医療の質の向上につながればと考えています。

### 手術室：早稲田祥子



## 訪問看護師

---

### 「地域の訪問看護を目指します」

訪問看護師は患者さんや家族との関わりが深く、お互いの信頼関係で成り立っているため、やりがいも大きいです。家族の立場に立ってケアを行い、何より住み慣れた家庭で療養生活を安心して送れるように支援していきます。そして、「ありがとう」の言葉や笑顔を励みに少人数のスタッフで訪問看護を提供し頑張っています。

### 外来：菊地なぎさ





## 部署紹介



### 2階病棟：看護師長 富岡淳子

#### 「患者さんの傍らで、思いやりのある看護を！」

2階病棟は急性期の治療が終了し、在宅に戻るため家屋や福祉サービスの準備が必要な患者さんや長期の療養が必要な患者さんが生活をする療養病棟です。看護師と看護助手がほぼ同数で勤務していて、協力して日々の看護や退院指導をしています。また、患者さんが季節を感じ生活のリズムを整えられるように、病棟独自にガラスアートや遊びリテーション、嚥下体操を行っています。療養病棟にしかできない体験が沢山できます。



### 3階病棟：看護師長 西宮英子

#### 「あふれる笑顔で患者さんに寄り添う看護を！」

内科、眼科、小児科の50床の病棟です。急性期～慢性期、終末期の援助まで様々な病状の患者さんが入院されています。地域の中核病院で高齢者の入院が多い中、入院時から他職種と協働し退院支援に力を入れています。地域の方々との連携を図り、一人ひとりの個別性を尊重した看護ができるようスタッフ一同、日々努力をしています。入院中はもちろん退院後も安心した生活が送れるよう笑顔で思いやりのある看護を提供していきます。



## 4階病棟：副看護部長 兼看護師長 岡崎京子

### 「～安全、迅速に患者さんに寄り添った看護～」

外科、整形外科、内科の混合病棟で、地域包括病床は8床あります。急性期看護や在宅に向けて退院支援に力をいれています。多職種間のカンファレンスを行い患者さん、家族に寄り添った看護を目指していきます。



## 手術室・中央材料室：看護師長 高野良子

### 「患者さんが安心して手術に望めるために」

手術を受ける患者さんが安心して望めるように、手術前訪問に伺っております。顔の見える関係作りや緊張がスーと和らぐ雰囲気作りを心掛けています。

手術の説明や不安がないかお話を聞いています。私たちは、手術が円滑に遂行されるように、専門的知識と技術の習得にも努めていきます。





### 「みんなで支える体制作り」

看護師5名とMSW1名で構成されています。患者相談窓口も加わり、患者さん・ご家族、そして病院スタッフの悩みを聴いて対応しております。入退院支援、地域連携を進めるにあたり、地域の方々との顔の見える関係作りを大切にしております。みんなで一つになり地域全体を支えていきたいと願っています。



### 「ママさんパワーで頑張ります」

当院は1市1町からなる2次救急指定病院です。毎日約250名の外来患者さんに対応しています。外来スタッフは、看護師20名看護助手5名です。子育てしながら家庭と仕事の両立に奮闘しているママさんスタッフが多く働いています。地域医療を守るためママさんパワーで明るく活気ある外来看護を提供していきます。



## 「安心と信頼の透析室を目指して」

透析室は、看護師5名、臨床工学技士3名の計8名で18人の患者さんの外来維持透析を行っています。日々透析技術の研鑽に努めるだけでなく、患者さん・ご家族の皆さんとのコミュニケーション、生活習慣への助言、情報提供を大切にしています。

専門の医師をはじめ、看護師・臨床工学技士が「病棟・栄養課・医療連携室・地域」と連携し、病態の変化に応じた透析医療を提供しています。今後も「安心と信頼の透析室を目指し」患者さん・ご家族の皆さんのニーズに応えられるよう努力して参ります。



毎月全患者さんの人工透析下肢動脈疾患重症化予防の評価を行ない、足病変の早期発見に努めています。また、フットケアも積極的に行っています。

いつまでも自分の足で歩き、元気でいられることを目標に、今年度から透析中の運動療法を始めました。







# 教育について



## 教育体制

当院は日本看護協会（JNA）ラダーを取り入れた教育を行っています。  
 地域の方の暮らしと医療を支えるため切れ目のない看護が必要です。その実現のために基本となる看護実践能力の強化が必要です。看護師は多職種連携の中心的役割を担い、患者さんの個別性を配慮した看護ケアを目指します。

2019年度4月より、日本看護協会のクリニカルラダーを看護実践能力の標準的指標として、当院の理念や目標に応じた組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力を含めたキャリアラダーとして3つの学習を段階的に進めています。また、インターネットを利用したオンデマンド研修も取り入れ子育て中の方や育児休暇中の方も、しっかりと受講できる体制です。

### ◎教育目標

1. 地域医療の提供に必要な看護実践能力の向上に向けて自発的に行動することができる人材育成
2. 質の高い医療の提供に向けて、多職種と連携することができる

### ◎那須南病院看護部キャリアラダー

習熟段階	看護実践能力の定義	到達目標
V ラダーIVを到達した看護師	より複雑状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する</li> <li>・所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる</li> <li>・看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる</li> <li>・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる</li> <li>・看護単位における教育的役割がとれる</li> </ul>
IV ラダーIIIを到達した看護師	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する</li> <li>・職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる</li> <li>・自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組み、後輩のモデルになる</li> </ul>
III ラダーIIを到達した看護師	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアの受け手に合う個別性な看護を実践する</li> <li>・職場での組織的役割が遂行でき、チームリーダーや調整の役割が果たせる</li> <li>・自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や新採用者に対する指導的な役割を実践することができる</li> </ul>
II ラダーI以外の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する</li> <li>・メンバーシップを高めると共に、チームリーダーの役割がとれる</li> <li>・自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる</li> </ul>
I 新採用の新人看護師及び同等の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する</li> <li>・チームメンバーとしての役割が果たせ、良い人間関係を築ける</li> <li>・自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる</li> </ul>

## ◎新人看護職員研修

キャリアラダーⅠに沿って学習を進めて行くとともに、できるだけ早く職場になじみ、自立した看護実践が行える為の知識・技術を身につけられるよう3ヶ月ごとに目標を決め、定期的に研修を行っています

- Ⅰ期目標
- ①休まず出勤できる
  - ②患者、家族、職員へ進んで挨拶ができる
  - ③日勤業務ができる
  - ④指導の基見守られながらケアや処置ができる

- Ⅱ期目標
- ①メンバーの一員としての役割を認識し業務ができる
  - ②基本的な看護技術が一人で行える

- Ⅲ期目標
- ①個別性のある看護が展開できる
  - ②不明な点や知識・技術を明らかにして補足と習得ができる
  - ③指導のもと重症患者を看ることが出来る
  - ④指導のもと急変に対応できる

- Ⅳ期目標
- ①基本的な看護援助に必要な知識と技術を習得し、安全・安楽に援助できる
  - ②メンバーとして役割が果たせ、良い人間関係を築ける
  - ③自己学習及び自己研鑽の方向性と方法が分かり、実践できる
  - ④現場での看護実践および学習・研修を通して看護観を育てる

病棟では新人看護職員をチーム全体で支援していくチーム支援型教育体制を取り、環境づくりを心がけています。

1. 親しみやすい職場の雰囲気をつくる
2. 困ったときに一緒に考える
3. できたこと、考えたことを認め勇気づける
4. 社会人として、看護師のモデルとなる

## ◎新人看護職員研修の様子（2020年度）

### 救急シミュレーション



### 院内留学





## 看護助手教育

### 看護助手研修

教育委員会では看護助手全員が参加し、安全に業務ができて知識や技術を習得できることを目標に研修を計画し実施しています。また、看護助手の経験がない人は基礎から教育を受けられ、看護助手の経験がある人は持っている知識と技術をさらに増やせるように次年度からは、看護師教育と同様に看護助手も当院独自のラダーを作成して看護助手教育を行う予定です。ぜひ、一緒に楽しく働きましょう！

#### ◎助手研修の様子（2020年度）



## e-ラーニング研修活用

当院はインターネットを活用してオンライン講義「e-ラーニング」を採用しています。教育委員が中心となり、ラダー教育にオンデマンド研修を活用しています。時間外研修を減らして、オンデマンドを活用し、自分のライフスタイルに応じた自宅学習を推奨しています。看護部職員はいつでもどこでも学ぶことができます。

#### ◎JNA ラダー研修の様子（2020年度）



あなたの夢と一緒に応援します！



当院は看護師志望の学生を対象に、修学資金制度を設けています。

### 制度の目的

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院の看護師及び准看護師の充実を図るため、将来那須南病院に勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与するものです。

免許取得後、貸与を受けた期間と同一の期間を那須南病院で看護業務に従事した場合は、修学資金の返還が免除されます。

### 1 対象者

看護師及び准看護師を養成する学校又は養成所に在学する方で、将来、那須南病院 に勤務する意志を有する方

2 貸与の額 (1) 看護師養成施設に在学の方…月額70,000円

(2) 准看護師養成施設に在学の方… 月額35,000円

### 3 貸与の期間

貸与の決定を受けた年度の4月から3月まで

- ① 貸与の申請及び決定は毎年度行ないます。
- ② 次年度以降も申請書の提出が必要です。(養成施設を卒業するまでの期間は貸与します)

### 4 貸与の時期

6月・9月・12月及び3月に当該月分まで(3か月分)を指定の口座に振り込みます。  
(これ以外の時期または回数の変更も可能です。)

### 5 申請期間及び方法

随時

修学資金を希望される方は、下記まで連絡願います。申請書類等をお渡しします。

常時受け付けておりますので、ご相談ください。

〒321-0621

栃木県那須烏山市中央 3-2-13

那須南病院 総務課 0287-84-3911